

姫路市就学前教育・保育施設の在り方方針（案）に関する
市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について

1 市民意見（パブリック・コメント）の概要

(1) 意見募集期間

令和3年3月22日（月）から令和3年4月23日（金）まで

(2) 周知方法

- ・広報ひめじやホームページへの掲載のほか、幼保連携政策課、こども保育課、市政情報センター、各地域事務所・各支所・各出張所・各サービスセンター、駅前市役所、曾左・四郷・八幡公民館への資料設置等により意見を募集した。
- ・また、市内公立・私立認定こども園、保育所、幼稚園へのパブコメ広報ポスター掲示により周知を図った。

(3) 意見提出状況

意見提出者と意見の数 177通、316件

(4) 意見の内容

項目	件数
就学前教育・保育の在り方	18
市立の就学前施設の役割	5
市立就学前施設の配置に係る実施方針	236
方針全般	50
その他の意見	7
合計	316

(5) 修正する項目

0件

2 姫路市就学前教育・保育施設の在り方方針（案）に関する市民意見（パブリック・コメント）に対する市の考え方について

市立就学前施設の在り方

1 就学前教育・保育の在り方

(3) 市立施設の統合再編による職員の集約化と各園の体制強化

番号	提出された市民意見（要旨）	件数	市の考え方
1	市立幼稚園における35人学級をもっと少人数学級にしてほしい。	6	入園を希望する児童を全員受け入れるため、4歳児及び5歳児を35人学級としていますが、方針（案）に示していますとおり、職員の集約化を進めることにより、今まで以上に保護者や子どもに向き合える体制を強化していきたいと考えております。
2	市立幼稚園において園児に対する教師の人数を増やしてほしい。	2	
3	市立幼稚園において、歳児ごとに少しずつクラスの園児数を増やす（3歳児20人、4歳児25人、5歳児30人）ことで、環境の変化に適応させてはどうか。	1	
4	統合再編により現場の職員の負担軽減や質の向上、保護者支援へとつながっていくのであれば本案に賛成である。	1	本市には64の市立就学前施設があり、750名以上の職員が現場で運営に携わっています。しかしながら保育人材の確保は容易ではなく、現場の職員の負担は大きくなっており、多様化する教育・保育ニーズの全てに対応することが難しくなっています。 本方針では公立施設が担うべき役割の「選択」と、本市の持つ施設や人材等の資源の効果的な「集中」により、各施設における人員体制を強化し、今まで以上に保護者や子どもたちに向き合える体制を作ることも目的の一つとしております。

(4) 姫路市全体の教育・保育の質の向上

5	市立幼稚園が担ってきた質の高い就学前教育を、認定こども園等でも提供できる環境整備、運営システム整備を進めるべきである。	1	本市では全国的にも早い段階から市立のこども園を整備し、幼保一体化の推進を図ってきました。本方針では今後、市立幼稚園で培った幼児教育の経験やノウハウが、今まで以上に認定こども園において活かせる体制の構築に努めることとしており
---	---	---	---

			ます。
6	就学前教育について公立、私立に関わらず同じ教育が受けられるよう統一化してほしい。	1	本市ではこれまでも私立施設と協同で「姫路市保幼小連携教育カリキュラム」を策定し、小学校入学に向けて取り組むべきアプローチプログラムを共有するなど、施設種別や公私の別に関わらず姫路市の目指す幼児期の教育が実現できるように努めてきました。 今後も市立就学前施設の役割として、市立施設において幼児教育・保育の実践と研究を重ねるとともに、私立施設とも協力しながら、本市全体の教育・保育の質の維持・向上に努めていきます。
7	完全に私立化するのではなく、市立幼稚園の教育や教職員をモデルとし、市としての教育方針を固め、広げてほしい。	1	
8	市立幼稚園を認定こども園や私立施設化していくのであれば教育水準を落とさない方法を考えてほしい。	1	
9	こども園、保育所、幼稚園、小学校との連携や、公立と私立施設の連携に努め、姫路市全体の教育、保育の質の向上を図ってほしい。	1	
10	公立施設と私立施設が協力しながらよりよい教育・保育が行えるようになってほしい。	1	
11	小中一貫教育のように幼小一貫教育が進むことを希望する。	1	幼稚園から高校までのすべての学校園において、発達段階に即した「育ち」と「学び」をつないでいます。その中で幼小中一貫教育も研究していきたいと考えております。
12	小中一貫校のある白鷺地区に市立幼稚園を開園し、幼小中一貫教育を実現してはどうか。	1	

2 市立の就学前施設の役割

(1) 行政機関としての公共性、公平性と標準的な教育・保育の実施

13	市立幼稚園の良いところである、地域との関わりや小学校との連携を今後とも大切にしてほしい。	1	地域の関わり、小学校との連携は今後とも大切にしていきます。
14	安心して小学校生活が送れるように、市立幼稚園においてさらに小学校との連携を進めてほしい。	1	今後も小学校と連携を進めていきます。

(3) 特別な配慮を必要とする子どもの教育・保育

15	特別支援学級の普及を進めてほしい。	1	方針（案）に示していますとおり、特別な配慮を必要とする子どもへの教育・保育を充実させるため、職員の集約化を進めるこ
----	-------------------	---	---

16	市立幼稚園において特別教育支援員の配置をしてほしい。	1	とにより、今まで以上に保護者や子どもに向き合える体制を強化していきたいと考えております。
17	市立幼稚園において特別教育支援員又はフリーの教員を配置してほしい。	1	特別支援教育支援員の配置につきましては、今後も園児の実態把握に努め、支援の必要な子どもたちに対して、適正な配置をしていきたいと考えております。

3 市立就学前施設の配置に係る実施方針

①近隣に市立幼稚園及び市立保育所がある場合は原則認定こども園への移行を行う。

18	親の就労の有無や年齢にとらわれず利用できる施設が増えれば待機児童や3歳児の受け皿ができるのではないかな。	1	原則として保育を必要とする事由に該当しない児童のみが利用する幼稚園から、幼稚園と保育所の機能を併せ持った認定こども園への移行を進めることで、親の就労の有無や子どもの年齢に関わらず教育・保育施設を利用できる環境を作ります。
19	幼稚園で園児数が減少し、保育所が満員であることから、幼稚園を保育所と同じようにするか、統合すべき。	1	
20	幼稚園、保育所、こども園、いずれで働く職員も子ども達が同じ学びとなるよう勉強をしている。こども園であれば教育・保育と各家庭に合った選択をすることができるためこども園化を進めるべき。	1	
21	本地区にこども園を作してほしい。	1	今後、具体的な検討を進め、本方針に基づき取り組みを進めていく対象施設等を示していくこととしております。

②子どもたちにとって望ましい集団規模で活動できる環境を作るため、園児の数が一定数に満たない市立幼稚園については、近隣の市立又は私立園との統合再編を行う。

22	望ましい集団規模の目安を20人以上としている根拠をより詳しく示してもらいたい。	1	平成9年に「姫路市教育問題懇話会」から提出された「姫路市における幼児教育のあり方」における「1クラス20人前後が幼児教育を実践していくうえでの最低単位である」とする意見を基に「姫路市幼稚園教育振興計画」及び同実施計画において市立幼稚園の統廃合を実施してきました。今回の方針を策定するに当たっては、これまでの考え方を子ども・子育て会議分科会委員に示した上で審議していただき、引続き20人を目安とすることといたしました。
----	---	---	--

23	「20人未満」については地域差なども考慮し、猶予を持って線引きしてほしい。	1	本市は山間部から島しょ部まで、多様な地域性があるため、機械的に判断することは難しいと考えられることから「おおむね20人未満」としております。また、実施に当たっては周辺の提供体制など地域の実情を勘案しながら行うこととしております。
----	---------------------------------------	---	--

③上記①②を実施するに当たり、園舎の建替えが必要となる場合、及び市立就学前施設の老朽化に伴い園舎の建替えが必要となる場合については、私立認定こども園としての整備について積極的に検討する。

24	幼稚園の施設整備への対応として、小学校の空き教室や放課後児童クラブの施設を活用してはどうか。	1	小学校の余裕教室等を幼稚園や保育所に転用する事例は全国でも見られるところです。今後、市立就学前施設の配置に係る実施方針に基づき取組を進めていく中で、そのような施設の活用についても研究していきたいと考えております。
25	私立施設ではなく、公立施設を増やしてほしい。	1	就学前児童は年々減少を続けており、この傾向は今後も継続することが見込まれています。共働き世帯の増加や保育料無償化の影響等により、保育需要については増加してきていましたが、中長期的にはピークアウトし、児童数の減少に合わせ教育・保育の需要の総量は減少していくものと考えられます。
26	老朽化施設の改修については市全体で計画的に予算を編成し、安心して子どもを預けられる環境を整備してほしい。	2	今後、老朽化施設の適切な維持管理を行っていくためにも、市立の就学前教育・保育施設の保有量については、利用者数に合わせ、計画的に最適化を図っていくという視点も必要となるものと考えております。
27	統合などにより園の選択肢が減ることは残念である。	2	
28	市立施設を私立施設に移行していくのは不安である。	5	姫路市では既に就学前児童の多くが私立の認定こども園や保育所で教育・保育を受けております。
29	市立幼稚園をこども園化したり、私立化したりしていくことで幼稚園教育が無くなってしまふことにならないか不安である。	1	私立施設においては保護者ニーズに対応するため、長時間の保育や様々なプログラムの実施など、各園において特色ある教育・保育を提供しております。
30	市立幼稚園が私立化されることで教育の質が下がってしまうのではないか。	1	今後も市と私立施設が連携・協力しながら、さらなる教育・保育環境の充実に努め

31	保育の質を下げないために保育の質に係る評価基準を定めてほしい。	1	てまいります。 また、新たに私立施設を公募するに当たっては、公募型プロポーザル方式により事業者を募集することとし、外部の有識者などで構成された選定委員会において、教育・保育内容も含めて選考を行い決定することとします。
32	市立就学前施設について施設整備のコストを考えると、私立施設との統合を検討するのがいいのではないか。	1	本市においては、これまでも姫路の子どもの健やかな成長という共通の目標のもと、市立の就学前施設と私立の就学前施設が相互に連携を図りながら、幼児教育・保育の振興に努めてきました。 今後も限られた人材や財源で、多様化する教育・保育ニーズを充足させ、将来に向けた持続可能な教育・保育を実施していくためには、私立施設の力を積極的に活用する必要があります。 ただし、市立施設の役割を果たすために必要な施設については、引続き市で運営を続け、市立と私立が両輪となって本市の教育・保育を進めていきます。
33	子ども達にとって望ましい集団規模で活動できる環境を作るため、園児数が一定数に満たない市立幼稚園については近隣の施設との統合再編をすべき。	1	
34	私立施設が広まることで、保育時間など保護者ニーズに応えられるようになるため、市立就学前施設を私立施設に統合していくべき。	1	
35	公的でなければ提供できない場所を除き、私立での教育・保育サービスを重用すべき。	1	
36	私立施設にはそれぞれ特色があり、親はニーズに合わせ選択することができる。要望にも柔軟に対応してもらえることから公立施設を私立化していくことに賛成である。	1	
37	幼稚園施設については私立に移管することで、きめ細やかなサービスを提供するとともに、老朽化に伴う建て替えについても国の補助金を活用し、余った財源は子どもの貧困・虐待・特別支援などに活用すべき。	1	
38	新たな就学前施設を建設する際には近隣住民の理解など時間がかかることなどを考えると、既存の市立就学前	1	

	施設敷地を活用して、こども園への移行や統合再編をすることが待機児童の減少に寄与すると考えられることから、本案には賛成である。		
39	現在でも私立施設の利用者が多いことを考えると待機児童の解消には市立施設は私立施設と統合していくべき。	1	
40	市立幼稚園のメリットもあるが、共働き世帯が増えたことで保育時間の長い私立保育所のメリットを感じる親が増えている。今の時代に合わせ、市立施設を私立施設にしていくべき。	1	
41	公立では難しいような経験ができる、私立施設のほうがよい。	1	
42	私立保育所は長く同じ園に努めている先生が多く、安心して預けることができるため、今後も私立園が増加してほしい。	1	
43	民間でできるのであれば、民間の保育所・こども園を増やしてほしい。	1	
44	市の財源が潤沢であれば公立で建替えてもよいが、かわいい園舎が建つのであれば私立に建ててもらいたい。	1	
45	少人数が利用している施設に大きな財政負担をするのであれば、他の子育て事業の充実を図ってほしい。	1	
46	幼稚園のニーズが少ない以上、古い施設に改修や建替え工事をするのは無駄である。	1	
47	市立就学前施設の跡地については、私立施設として活用するほか、地域での活用やリモートワークや自習室などのレンタルスペースとして活用してはどうか。	1	これまで市立幼稚園の跡地については、小学校や放課後児童クラブで活用するほか、公民館や地域の施設などとして活用してきております。今後も市立就学前施設の跡地については、ご意見も参考に有効に活用できるよう検討していきます。

48	公私連携法人に移行する場合には、今までの市立施設の取組みを継続してほしい。	1	公私連携法人を活用する場合には、市立施設の取組や理念を継続できる事業者が選定できるよう努めます。
----	---------------------------------------	---	--

④市立施設の役割として、各地域ブロックにおいて必要な施設は存続させる。

49	本地区の市立幼稚園を存続させて欲しい。	3	今後、具体的な検討を進め、本方針に基づき取組を進めていく対象施設等を示していくこととしております。
50	市立幼稚園を存続させてほしい。	33	市立幼稚園ではスタンダードな幼児教育の実施を始め、地域や学校との連携、インクルーシブ教育の推進などに努め、その取組みについては市民の皆様からも評価をいただいているところです。 しかしながら、少子化の進展や子ども・子育て支援新制度の開始に伴う認定こども園の増加、幼児教育・保育の無償化などにより定員充足率は大幅に減少してきており、集団規模の維持が困難となってきた園もでてきています。 一方で、保育所、認定こども園においては、施設のハード面においても、また、保育人材というソフト面においてもその確保に苦慮しており、待機児童が発生する要因となっております。 この方針においては、まず公立施設が担うべき役割を「選択」し、本市の持つ施設や人材等の資源の効果的な「集中」を図り、そのうえで必要となる提供体制の確保のために、新たに私立施設を募集することで、これらの課題の解決を図ろうとするものです。 なお、公立施設が担うべき役割を果たすために必要な市立幼稚園を含めた市立就学前施設については今後も維持していきます。
51	少しでも多くの市立幼稚園の存続を希望する。	2	
52	利用者の多い市立幼稚園は残してほしい。	1	
53	市立幼稚園に求められる役割を果たすため、一定数の市立幼稚園を残すべきである。	1	
54	市立幼稚園の存続と統合再編は2本柱で進めてほしい。	1	
55	保護者のニーズや子どもの特性によって、公立、私立、幼稚園、保育所、こども園といった就学前施設を自由に選択できるよう、バランスを考えた再編をお願いしたい。	2	
56	市立の幼稚園、保育所、こども園があることで、職員が複数の施設種別を経験することができ、質の向上に寄与していると考えられる。そのため今後もそれぞれ一定数は残すべきである。	1	
57	市立の幼稚園、保育所、こども園が揃っていることは学生にとって魅力であるため、もっとアピールすることで優秀な人材の確保につながるのではないか。	1	

58	施設にも多様性が必要であるため、こども園に移行するだけでなく、少しでも多くの市立幼稚園、保育所を残してほしい。	1	
59	少子化、子どもの教育に力をいれてほしい。そのためには市立こども園、市立幼稚園が必要である。	1	
60	姫路市は市立幼稚園の数が多いため、一定程度減らすことはやむを得ないが、その施設の選定に当たっては立地などをよく考えてほしい。	1	
61	公立と私立が共存し、市民が選べる環境が必要ではないか。	1	
62	全ての子どもが差別されることなく、希望の地域で受け入れられる体制を無くさないようにしてほしい。	1	
63	現在でも4, 5歳児の2割は市立幼稚園を選択していることを考えると多様性の観点からも選択肢として残すべき。	2	
64	市立幼稚園は安価に通える教育の場であるため、子育て支援の一環として残していく必要があるのではないか。	1	
65	通園距離などを勘案し、特別な支援を要する子どもが市立幼稚園に通園できるだけの園数は残してほしい。	2	
66	公立就学前教育・保育施設の適切な存続を希望する。	6	
67	幼児教育については質の高い支援のために最低小学校区単位で考えるべき。	1	
68	基本的に校区、地域で子育て・教育ができる体制を整えてほしい。	1	第2期子ども・子育て支援事業計画においては、就学前施設を利用する子どもは、保護者の勤務先や施設の空き状況から、実際に居住する地域ブロックを超えた施設を利用することがあることから、教育・保育の提供区域を7区域としているところです。
69	校区内に幼稚園、保育所は必要である。	1	

70	地域で子どもを育てる観点から、家の近くに教育・保育施設があり、地域の人たちに見守られながら育つことが今後の姫路のためになると考える。	1	<p>現在、地域によってその割合は異なるものの、公立及び私立の幼稚園、保育所、こども園により、各地域において教育・保育が提供されています。</p> <p>本方針においては、保護者の就労状況や居住地に関わらず、本市のすべての子どもが教育・保育施設を利用できる環境を作ることを目指すこととしており、市立就学前施設を統合再編する場合であっても、地域の教育・保育の提供体制を勘案することとしております。</p>
----	--	---	---

⑤統合再編の結果、存続する市立幼稚園においては、3歳児保育等の導入を検討する。

71	市立幼稚園において3歳児保育実施園を拡充してほしい。	59	市立幼稚園における3歳児保育については、現在8園で実施しております。
72	3歳児保育の拡充に合わせ2歳児を対象にした親子プリスクールを行うことでスムーズな入園となるのではないか。	1	本方針においては、全ての3歳児が教育・保育施設を利用できる体制を確保することを目指すこととしており、今後も、就学前教育・保育施設全体で提供体制を確保していく中で、保護者ニーズ等を踏まえて、3歳児保育の拡充を検討したいと考えております。
73	施設を統合したうえで、残った市立幼稚園で3歳児保育を導入してほしい。	2	
74	市立幼稚園の3歳児クラスについて、応募人数に応じクラス数を増やせるようにしてほしい。	2	
75	市立幼稚園において就労支援のための預かり保育を実施するなど保育時間を延ばしてほしい。	57	<p>市立幼稚園における預かり保育については、第2期姫路市子ども・子育て支援事業計画に基づき就学前教育・保育施設全体で提供体制を確保していく中で、教育の充実のための方策として検討することとしていました。</p> <p>本方針においては、市立就学前施設の統合再編による職員の集約化による人材の確保に合わせ、実施に向けた具体的な検討を行っていくこととしております。</p>

76	市立幼稚園でも14時以降や夏休みに習い事ができるとよい。	1	14時以降や夏休みといった市立幼稚園における預かり保育につきましては、方針(案)に示していますように、統合再編の結果、存続する市立幼稚園において、社会情勢の変化を踏まえ、保育人材の確保に合わせ、実施に向けた具体的な検討を行ってまいります。
77	市立幼稚園において送迎用の駐車場の確保をしてほしい。	1	送迎用駐車場の整備については、用地確保の点から困難ですが、乗降場については、園から要望があった際に、設置可能場所がある場合は、整備について検討しております。
78	市立幼稚園存続のためにバス通園を検討してはどうか。	3	市立、私立、幼稚園、保育所、こども園に関わらず、市全体で提供体制を確保していく必要があるものと考えております。市立・私立を含めても就学前教育・保育施設が無い場合には、通園バスを活用するなどし、通園の機会を保障することは必要だと考えますが、本方針においては、そのような地域が発生しないよう、地域の提供体制に配慮しながら統合再編を進めることとしております。
79	公立就学前施設については、公的な役割を果たすため地域から見て魅力的で重要だと思える施設にするべきであり、施設自体の安全性、美しさに加え教育体制も充実したものにしてほしい。私立施設と比較しても負けない「色」を出していくことが必要である。	1	教育内容に関しましては幼稚園教育要領等に則った教育・保育を推進するために職員の資質向上の研修を行っております。その中で、魅力ある幼稚園になるよう取組の充実に努めてまいります。
80	市立幼稚園については教育内容等の充実を図り、魅力を感じることができる幼稚園に改善してほしい。	1	
81	市立幼稚園において付加価値をつけるための課外授業などに取り組みばよいのではないかと。	1	市立幼稚園は幼稚園教育要領に則ったスタンダードな教育を大切にしております。教育内容の範囲の中で、各園において講師による創意工夫を生かした特色ある教育活動を進めております。

82	市立幼稚園において給食を実施してほしい。	4	市立幼稚園には調理室が無く、家庭弁当を基本としていますが、保護者の負担を軽減するため、業者によるパンや弁当の配達を実施しております。食育に係る取組につきましては、集団での食事を通じて、マナーを覚えたり、食べることの楽しさを味わうことのほか、野菜の栽培・収穫活動を通して食に関心をもてるような活動を進めております。
83	市立幼稚園における食育の徹底やパン給食を改善してほしい。	1	

方針全般に関すること

84	市立幼稚園の入園児が増えるような改善策を取って欲しい。	5	就学前児童の受け皿として、市立幼稚園の利用者を増加させるという視点ではなく、市立、私立、幼稚園、保育所、こども園に関わらず、市全体で受け入れていくための体制を検討していく必要があるものと考えております。 その上で、今後も市立就学前施設については、これまで培ってきた専門的な知識や経験を基に、本市全体の教育・保育の質の向上に努めるための役割を果たしていきます。
85	園児数の減少に伴う廃園については、園児数増加のために様々な改革を行った結果に基づいて決定すべき。	1	
86	子ども達にとって望ましい環境を作るのであれば、地域と連携を取りながら運営している市立幼稚園で作ってほしい。	1	市立幼稚園ではスタンダードな幼児教育の実施を始め、地域や学校との連携、インクルーシブ教育の推進などに努め、その取り組みについては市民の皆様からも評価をいただいているところです。 しかしながら、少子化の進展や子ども・子育て支援新制度の開始に伴う認定こども園の増加、幼児教育・保育の無償化などにより定員充足率は大幅に減少してきており、集団規模の維持が困難となってきた園もでてきています。 一方で、保育所、認定こども園においては、施設のハード面においても、また、保育人材というソフト面においてもその確保に苦慮しており、待機児童が発生する要因となっております。 この方針においては、公立施設が担うべき
87	方針にある、姫路市の目指す方向性を実現するためには市立幼稚園が重要である。そのような施設の運営にこそ予算をしっかりと使うべきである。	3	
88	幼児期にふさわしい保育を幼児期にふさわしい環境で行えるようにしてほしい。	1	
89	効率化を図ることも重要であるが、教育に関しては効率を意識しすぎず将来を担う子どもたちにとってよりよい選択ができる教育施策を実施して	1	

	ほしい。		役割の「選択」と、本市の持つ施設や人材等の資源の効果的な「集中」を図ったうえで、必要な提供体制の確保のために新たに私立施設を募集することで、これらの課題の解決を図ろうとするものでございます。
90	市の財政難を理由に幼児教育の場を奪うことに疑問を感じる。	1	
91	市立幼稚園の更なる充実を希望します。	1	
92	将来の日本の宝を育むためにも、幼児教育を充実させる方法を真剣に議論し、目先の利益や合理化に傾かないでほしい。	1	
93	利益だけを考えて市立幼稚園をなくすことは、姫路市が就学前教育に力を入れていないように感じる。	1	
94	「民間でできることは民間で」ではなく「姫路市の子どもは姫路市が育てる」という方針で取組んでほしい。	1	
95	将来を担う姫路市の子どもの教育に対する予算を増やしてほしい。	3	
96	街づくり、人づくりの基本を幼児期の教育の充実・質の確保においていただきたい。	1	
97	幼稚園には様々なメリットがあるためその利点を残した取組みをしてほしい。	1	
98	幼稚園のニーズが時代とともに低下しているので、市の活性化のためにも検討が必要ではないか。	1	
99	市立幼稚園の良いところに関する意見（園庭が広い、小学校との連携等）。	18	
100	本案で示された方向性、実現に向けた考え方には賛成である。	2	
101	利用者が園を選択する上で参考とするために、各園で何を主に保育をして	2	市立幼稚園では、園庭開放やオープンスクールを実施し、未就園児の皆さんに園の活

	いるかなど、もっと情報を発信することが大事ではないか。		動を実際に体験していただいております。また、ホームページ等において園の教育目標や活動計画などの情報発信を行っております。今後も、これらの取組を充実し、より多くの情報を提供できるよう努めてまいります。
102	幼稚園、保育所、こども園それぞれのメリット、デメリットを示して選択肢を広げることが必要ではないか。	1	
103	市立幼稚園の良さを伝える場があるといいのではないか。	2	
104	在り方については、すぐに答えを出さず様々な立場の方と話し合う場を設けじっくりと考えてほしい。	1	方針案については、姫路市子ども・子育て会議に諮問を行い、市立幼稚園の保護者代表や学識経験者、公募市民などで構成された分科会において、市立及び私立就学前施設の代表者の意見も聴取するなどして審議いただき作成しました。今後取組を進めるに当たっては、計画を策定し、保護者や地域の方に対し説明を行っていくこととしております。
105	地域住民の意見を吸い上げ、決定事項として統廃合するようなことがないようしてほしい。	1	

その他今回の案とは直接的には関係はないが、意見のあったもの。

106	市立幼稚園において事務担当の職員を配置してほしい。	1	いただきましたご意見は、今後の園運営に係る取組の参考とさせていただきます。
107	市立幼稚園において、家庭との連携や充実した教育活動のためオンラインICT教材を導入してほしい。	1	今後、ICTを活用した保育を進めていける環境を整えるように努めていきます。
108	私立保育所等では市立幼稚園の経営学を取り入れて、質の高い教育を目指してほしい。	1	今回の方針については市立施設を対象とするものですが、今後も市立施設と私立施設が連携し、本市全体の教育・保育の質の向上に努めていきます。
109	公立及び私立こども園の公開保育を行い、保育に必要なことをみんなで議論し、これからの姫路の子どもたちの健やかな成長を真剣に考えられるような環境を整えて欲しい。	1	これまでは公立施設、私立施設のそれぞれが公開保育を実施し教育・保育の質の向上に努めてきたところです。今後、今まで以上に市立と私立の連携の強化を図り、本市全体の教育・保育の質の向上に向けた体制づくりに努めていきます。

110	保育士不足に対応するため、中高生が乳幼児保育に関心を持てるようなイベントを実施してほしい。また、市内の養成校に保育士を目指して通う学生に対し市内での就労を条件とした奨学金制度を創設してほしい。	1	本市においても保育の受け皿拡大に伴い必要となる保育士確保に向け、様々な取組を進めております。中高生を対象とした取組についても、保育士による各学校への出前授業のほか、職業としての保育士に興味を持ってもらうために、保育士養成校や現役の保育士と交流するイベントを実施しております。今後も保育人材の育成、確保に向けた取組を進めていきます。
111	園長クラスの10年以上の勤務経験のある年配の職員について、発達障害のある園児や月齢により差の大きい3歳児、4歳児及びそれらの保護者への接し方が不適切であると感じる。今の状況に見合った対応について勉強してほしい。	1	不適切と感じる接し方があったことは残念です。 今後も園内外での研修を進め、教諭や保育士一人一人の質の向上に努めてまいります。
112	親が保育施設を活用しなくても家庭で、修学前の子どもにもっと関わられるように、金銭的な負担を軽減する施策をしてほしい。	1	関係課の参考にさせていただきます。